

日本経営工学会論文誌のご案内（Scopus, Google Scholar などについて）

第 35 期日本経営工学会理事会

日本経営工学会論文誌は JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）が運営する J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）にオープンアクセスで収録されています。さらに同論文誌に収録された論文は CiNii（NII 学術情報ナビゲータ）だけでなく、Scopus や Google Scholar にインデックスされています。

Scopus は ELSEVIER 社が提供する世界最大級の抄録・引用文献データベースです。あらゆる学術文献が収録されているのではなく、査読された論文で、かつ各分野の専門家で構成される独立したコンテンツ選定・諮問委員会によって選定されたジャーナルが収録されています。したがって、Scopus へ収録されているということは、一定の価値が評価されたジャーナルであるといえます。



例えば Scopus は、世界大学ランキング（THE・QS）の評価に使用されたりしています。また、国立大学法人等が大学改革支援・学位授与機構へ提出する研究業績説明書に記述する代表的な研究成果・成果物なども、Scopus によるジャーナルの評価や被引用数が判断根拠（第三者による評価結果や客観的指標等）として利用されています。

Google Scholar は、Google 社の提供する学術論文検索サービスです。インターネット上に公開されている論文や論文情報を収集し、Google 検索と同様に論文に関する検索結果を得ることができます。前述した通り同論文誌はオープンアクセスであり、Google Scholar によって検索されると、全文が表示されるため、多くの読者の目に留まり、引用される論文へとつながる可能性もあります。ちなみに 2020 年 12 月 29 日時点の「ランキングの高い出版物（h5-指標）」のリストで、同論文誌は 32 位に入っています。

このように、日本経営工学会論文誌はオープンアクセスによって多くの読者の目に留まるというメリットがあるとともに、多くの他の論文に引用される可能性もあります。ぜひ多く引用されるような価値ある論文を投稿されることを期待します。

<参考 URL>

- [1] <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jima/-char/ja/>
- [2] <https://ci.nii.ac.jp/>
- [3] <https://www.elsevier.com/ja-jp/solutions/scopus>
- [4] https://scholar.google.co.jp/citations?view_op=top_venues&hl=ja&vq=ja